



2025年3月発刊

vol. 65

アイアム

LOGO DESIGN by Aimi Kawagoe

男女共同参画推進地域事業

- ・「男女共同参画×学生」防災ワークショップの開催
- ・市内各地区の自主防災組織の取組事例視察
- ・男女共同参画推進員の活動成果報告

誰にでもありうる、無意識の思い込み

“アンコンシャス・バイアス”に気付こう!

男女共同参画センター 開催講座・イベントレポート

家事・育児をシェアして家族みんなでHappyに♥



男女共同参画推進地域事業

「男女共同参画×学生」防災ワークショップ

「地域防災活動への女性の参画を進めるには」をテーマに、福井工業高等専門学校 環境都市工学科 助教 芹川由布子 氏や福井工業高等専門学校生のご協力を得て、男女共同参画推進員と自主防災組織の方々によるワークショップを行いました。

テーマに沿ってアイディアを出し合い、具体的にどのようなことをしたら女性参画が進むかを考え、グループごとに発表しました。

(1) 女性の参加を促す取組

1 訓練等にあわせて参加したくなるような楽しいイベント内容を企画する

- アイディア
1
- 具体例
- 電気のない生活の不便さを体験する1日停電体験
 - キャンプ形式の炊き出しやお泊り体験会
 - 炊き出しのレシピを教える炊き出し体験会（参加無料、食材は持ち寄る）
 - 非常食の試食や非常食を使った料理体験会など

2 子どもが行きたいと思って家族で楽しめる企画から家族連れの参加を促す

- アイディア
2
- 具体例
- 子ども自身に「行きたい、楽しそう」と思える企画を考えもらう
 - PTAや子ども会の行事に防災を結びつけることで、親の防災意識を高める
 - いつ災害が発生するかわからないので、時間帯別に避難場所を決める機会をつくる
 - 地区のまつりなどのイベントで、防災に関するブースを設けるなど



3 訓練等に参加する人への参加特典を用意する

- アイディア
3
- 具体例
- 茶菓子（スイーツ）を用意して談話時間を設ける
 - スタンプカードやポイントカードをつくる
 - 子どもが喜ぶお土産（おやつ）や大人用粗品（ごみ袋）を配布するなど

4 学校や公民館と連携した訓練等を行う

- アイディア
4
- 具体例
- 避難所である学校で、調理室での炊き出し訓練や、体育館で一泊体験をする
 - 子どもの町探検やウォークラリーを利用したハザードマップづくりなど

5 訓練等で女性や子育て世代に配慮した取組をする

- アイディア
5
- 具体例
- 腕力や体力に頼らない訓練をする（バケツリレー、消火器訓練など）
 - オンラインツールを利用した意見交換会・講座等を企画するなど

(2) 女性への情報発信手段・内容

1 様々な世代に届けるため、多様な情報発信方法をとる

- アイディア
1
- 具体例
- 回覧板、メール、SNSなどアナログからデジタルまで様々な情報発信は必要
 - スマホが使えないときの連絡手段を家族や町内で決めておく
 - ラジオの使い方を学ぶなど、アナログな手段を使えるようにする
 - ごみステーションに掲示して発信する
 - 保育園・学校、敬老会、職場などの小さなコミュニティで発信する
 - 女性有名人や発信力のあるインフルエンサーに発信してもらうなど

2 気軽にできる・見ることができるように情報発信の内容を工夫する

- アイディア
2
- 具体例
- 電気等がなくても生活する方法、暮らしの知恵的なことを発信する
 - 女性目線での被災経験を発信するなど

市内各地区の自主防災組織の取組事例を視察しました！

日之出地区 自主防災組織連絡協議会

日之出地区では、地区コミュニティのキーワードとして「子どもと防災」を掲げ、小学校や地区全体が一体となって防災活動を行っています。

2017年から「ウイークデー防災訓練」を毎年継続実施

- 平日午後、小学生の下校途中においての大震を想定した訓練
- 学校、PTA、公民館、自治会連合会、社会福祉協議会等が協力
- 訓練の運営スタッフの半数が女性



視察日 2024.11.24

河合地区 自主防災組織連絡協議会

河合地区では、コロナ禍をきっかけにSNSを活用した緊急連絡体制の強化に取り組んでいます。

LINEアカウント「河合公民館」として防災情報や地域情報を配信

- 災害時連絡に限らず、地区行事・防犯情報などを配信
- LINE登録者が約1,000人（登録者の約6割が女性）



視察日 2024.11.26

麻生津地区 防災連絡協議会

麻生津地区では、地域企業と連携した防災対策を推進しています。

2019年にフクビ化学工業(株)と防災連携協定を締結

- 近隣住民と企業の合同防災訓練を毎年5月に実施
- 青葉台防災会（単位自治会）の取組
- 自治会班長（20人中5人が女性）が防災会を兼任
- 防災役員会を毎月開催



視察日 2024.11.29

- 組織体制
- 役員として消防団、防犯隊、社会福祉協議会、女性クラブ、交通安全協会等から参画
 - 社会福祉協議会、女性クラブ（JA女性部、商工会女性部、日赤奉仕団）、女性防火クラブが避難所運営を担当

福井市男女共同参画推進員 成果発表会を開催しました！

開催日
2025.2.1

福井市男女共同参画推進員は、令和5・6年度の活動テーマを「防災における女性の参画推進」として、福井市全域にわたる広域的な意識啓発事業に取り組んできました。その2年間の活動内容と成果をリーダー推進員が発表する成果発表会を開催しました。

活動成果のまとめ

● 地区内の団体や企業等とのつながりを深めることが重要

- ・団体や企業等と連携・協働した訓練や活動を実施、継続することでつながりが生まれる

Point 協働する団体やグループ等が目指す目的や蓄積された経験、ノウハウに沿った防災活動を行う

● 自主防災組織には、まずは協力委員やサポーターとして参画してもらうなど段階を踏む

Point 団体トップや特定の個人ではなく、仲間同士・グループみんなをいっしょに勧誘する

● 女性や子育て世代が防災活動に参加するきっかけをつくることも重要

- ・夏祭りや文化祭などの地区行事で楽しめる防災イベント・コーナーを設けることで興味をもってもらえる

Point 防災の要素を加えたゲームやワークショップで出たアイディアなどを参考にする

● LINEなどのSNSで防災情報を発信し、防災活動について目に触れて知ってもらう

Point 地域コミュニティの情報もあわせて発信する

● さらに防災における女性参画を推進するために…

- ・地区的行事や団体、自治会などに関わる女性や子育て世代を増やしていくこと

・自治会活動=世帯主、避難所運営・救助=男性など、無意識の思い込み

(アンコンシャス・バイアス)に気づき、決めつけないこと などが必要



2025.3.5

男女共同参画推進員の2年間の活動を市長へ報告しました！

男女共同参画推進員が2年間の活動成果を西行市長に報告しました。西行市長からは「推進員の活動報告を参考に、男女共同参画と地域の防災力向上に取り組んでいく」と発言がありました。

今後も、男女共同参画推進員として、防災をはじめ、地域活動における女性の参画推進に取り組んでいきます。



誰にでもあります、無意識の思い込み “アンコンシャス・バイアス” に気付こう！

女性
だから…

普通は…



するべきでは…

男性
だから…

アンコンシャス・バイアスとは、自分自身は気づいていない「ものの見方やとらえ方のゆがみや偏り」をいい、日本語で「無意識の思い込み」と表現され、誰にでもあります。

特に性別に関する思い込みは「ジェンダーバイアス」とも呼ばれ、性別による「固定的な性別役割分担意識」は、社会の様々な場面でジェンダーギャップを生み出す原因の一つになっています。

アンコンシャス・バイアス チェック

チェックしてみて!!

こんな風に思ったことはありませんか？



- 組織のリーダーは男性の方が向いている
- 受付、接客・応対は女性の仕事だ
- 共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先すべきだ
- 育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない
- 女性に理系の進路(学校・職業)は向いていない
- 女性は論理的に考えることが苦手だ
- 男性は気を遣う仕事やきめ細かな作業は向いていない
- 性別による向き、不向きがある



下記3つのポイントを意識し、
まずは「アンコンシャス・バイアス」に気付くことからはじめましょう

Point.1

「べき」「普通は」に注意!
「べき」といった押し付けや
「普通は」といった決めつけの
言葉が出たら、立ち止まって
考えてみましょう。



Point.2

相手の「サイン」を見逃さない
友人・知人・同僚の会話中、
相手の表情が曇ったり、声の
トーンが変わったりしたこと
はありませんか？



Point.3

常に自分に問い合わせる
常に自身の言動を振り返り、
問い合わせることが大切です。
違和感のあったことをメモし
ましょう。



2024年度

男女共同参画センター 開催講座・イベントレポート

男女共同参画センターは、男女共同参画に関する市民の活動拠点として、女性のキャリアアップや再就職支援、男性の家事・育児への参画促進など、さまざまな講座の開催や情報提供などを行っています。今回は、2024年度中に実施した講座の一部をご紹介します。今後も男女共同参画社会の実現に向けた楽しい講座、ためになる講座を多数開催していくので、ぜひご参加ください!!



男女共同参画講演会

女性も男性も明るくいきいきと暮らすために

開催日 2024.6.22
講師 住田 裕子 氏

男女共同参画への理解と関心を深めるため、女性初の法務大臣秘書官に就任し、現在は弁護士として活躍中の住田裕子氏による講演会を開催しました。

講演では、NHK朝ドラの「虎に翼」のように女性が生きにくい時代を検事として頑張りぬいてきた体験を楽しく交えられ、男女共同参画や金融のお話も分かりやすくお話しいただき、明るい雰囲気で元気がもらえた講演会となりました。



- 住田弁護士の話が聞きたくて参加しました。実体験に基づく話ですごくよかったです。
- 住田氏の軽妙なお話に引き込まれ、まだまだ聞いてみたいと思いました。内容も参考になることばかりでとても有意義な時間でした。
- 男女共同参画を始め、テーマに沿って順次話してくださり、楽しい講演会でした。話術も上手で再度聴きたく思います。
- 自分の生き方に多くのヒントいただいた。生涯現役を目指してガンバリたいと思いました。

多様な性的指向や性自認に関する講座

10人に1人のLGBTQ+ ~まずは知ることから始まる!~

開催日 2024.7.24
講師 川口 サマンサ 氏

男女共同参画社会を実現するには、自分の存在に誇りを持つことができると同時に、互いに認め合うことが重要です。多様な性的指向や性自認に対する差別的取扱いを無くしていくため、個性を尊重する意識の醸成を図る講座を福井市の小中学校教職員を対象に行いました。

今回はカナダ出身の川口サマンサ氏を講師に迎え、海外の事例なども交えながらご講義いただきました。ダイバーシティ(多様性)についてのグループワークや当事者の体験談を聞き、受講者は児童生徒とどのように関わっていくべきか真剣に聞き入っていました。



- LGBTQ+の生徒に対してどのような対応が必要なのか、どのようなことが取り組めるのかを知ることができました。
- 海外のLGBTQ+の取り組みを知ることができてよかったです。
- 知っているつもりで知らないことがあったので、詳しく話していただいてよかったです。
- 一人一人を認めえることの大切さを感じました。

企業向け女性活躍推進セミナー

職場における円滑なコミュニケーション ～女性が輝く職場づくりを目指す出前セミナー～

開催日 2024.8.2

LINKenリンク 代表
講師 森口 美和子 氏



企業における女性活躍を推進するため、企業の課題に沿った出前セミナーを行っています。今回は、職場におけるコミュニケーションをテーマとして、コミュニケーショントレーナーである森口美和子氏から、相槌やアイコンタクトといったつい忘がちなコミュニケーションの基礎などを学びました。また、他人とのコミュニケーションの中で重要な「価値基準」についても、自分と相手との違いを知るペアワークを通して、人それぞれの価値基準への理解を深めました。



- 一人ひとりの価値観を認め合うこと、尊重することの大切さを知って、社内外での仕事につなげていきたいと思います。
- コミュニケーションの大変さ、大切さがわかった。話す内容の違いもわかりやすかったです。
- 自分の価値基準を相手に押し付けていたような気がするので、気を付けていきたいです。

開催日 2024.8.21

アサーティブジャパン認定講師
講師 大橋 春美 氏



キャリアアップ支援講座

アサーティブ・コミュニケーション講座

キャリアアップ支援講座は、女性のキャリアアップへの意欲促進のため、キャリア形成や普段の仕事で使えるスキルを学ぶ講座です。アサーティブジャパン認定講師の大橋春美氏から、自他尊重の伝え方であり、上司や部下とのコミュニケーションに役立つアサーティブなコミュニケーションについて学びました。

「頼む」「断る」時のアサーティブな伝え方のポイントのほか、ペアワークでの実践なども通じて、アサーティブへの理解が深まったようでした。



- ロールプレイがあり、実践しながら学べて勉強になりました。
- 「実は言いにくいのですが」など、前置きをした上で自分の思いを正直に言ってみようと思いました。
- 丁寧でとてもわかりやすかったです。
- 事例などもあり理解が深まりました。

開催日 2024.11.10

パパッとCOOK考案者 栄養士
講師 鶴田 洋美 氏 浅田 由記子 氏



パパ家事応援講座

パパとチャレンジ! パパッとCOOK★

この講座は、男性の家事に対するハードルが少しでも低くなるよう、時間や手間をかけないちょっとしたコツなどを体験するものです。今回は、身近な家事“料理”について、包丁を使わずにサッと作れるレシピを親子で作って学ぶ講座でした。

県民せいかぎょうのミールキット「パパッとCOOK」の「みよしさんのさつまいもと鶏のテリヤキ風」や、混ぜるだけでできる簡単な「焼きサバのまぜごはん」と「かんたん豆サラダ」の全3品を、親子で協力しながら楽しく作りました。



- 時間をゆっくり取っていただき、落ち着いて子供と一緒に料理を作ることができました。
- 普段は食べない食材でも工夫次第で食べてもらえる事を知れてよかったです。
- 簡単だし野菜があれば作れそうな物ばかりで楽しかった。美味しかったです。
- 気軽にできて楽しかったです。久しぶりにフライパンを使って楽しかったです。

自分時間、とれていますか？

家事・育児をシェアして 家族みんなでHappyに♡

福井県の共働き世帯の割合は61.2%で全国1位(R2国勢調査)ですが、県内の有業者の1日あたりの家事・育児時間(週平均)は、女性が2時間43分、男性が33分と、男女間で2時間10分の差があります。(R3社会生活基本調査)

福井の女性は、働きながら家事や育児に多くの時間を割き、自分のための時間が思うようにとれていないのが現状のようです。

福井市では、普段の生活の中で、家族一人ひとりがどれくらい家事や育児にたずさわっているか、現状が一目でわかる「家事・育児シェア」見える化シートを作成しています。

家族みんなが自分のための時間をもつには、家事等を分担し、お互いを思いやる気持ちを持つことが大切です。「家事・育児シェア」見える化シートにチャレンジして、理想のシェアを見つけてみませんか？



小学生以上の子どもがいる
家庭用のシートもあります。
詳しくは

「家事・育児シェア」見える化シート



見える化シート 活用例

【現状把握】



〈話し合い〉



〈実践!〉



【理想の形】



夫がしている家事・育児…○
妻がしている家事・育児…○